

水質に関するよくあるお問い合わせについて

Q 1. 水質基準はどうやって決まっているの？

水道法第4条の規定に基づいて厚生労働省令により定められています。51項目ありますが、各項目・基準値等は、WHO（世界保健機構）の飲料水水質ガイドラインを参考にしつつ、健康状況等に関する研究・調査、諸外国の基準値等の設定状況、検査技術等を総合的に踏まえて決められており、日本全国で同じ基準になっています。

Q 2. 自宅の水質の検査をやって欲しいのですが？

市水道部では、市民の皆さまに安全で美味しい水を供給するため、すべての水源・配水系統において、毎日、残留塩素濃度・濁り・臭いの検査・監視を行っているとともに、定期的に専門の検査機関による詳細な水質検査を行っていますので、安心して水道水をご利用ください。検査結果はホームページでも公表しています。

万が一、水質の異常が広範囲の住宅・地域で確認されるような事態となった場合には、水道供給側の水質自体に問題があると考えられるため、直ちに給水を停止し、その原因を解明するため、市水道部において緊急の水質検査を行います。

また、個別の宅内給水設備の老朽化や不具合に起因する可能性が高い水質の異常については、市水道部において周辺の住宅・地域の状況を含め、調査・簡易検査をしたうえで、詳細な水質検査の必要性を判断します。

Q 3. 塩素臭・カルキ臭を感じるのですが？

水道水は、塩素（次亜塩素酸ナトリウム等）によって滅菌消毒すること及び全ての蛇口で残留塩素濃度が、1リットルあたり0.1mg以上検出することが水道法で定められています。

このため、個人の感覚差によって水道水に含まれる塩素臭・カルキ臭を感じるがありますが、この臭いは安全な水道水であることの証しであり異常ではありません。気になる場合は5分間程度沸騰すると臭いが取れます。また、飲料用は冷蔵庫で冷やすとより美味しくお飲みいただけます。

Q 4. 腐敗臭やカビ臭を感じるのですが？

長期間、水道を使用していない場合や、使っていない蛇口がある場合には、管路内に滞留した水の腐敗により腐敗臭やカビ臭を感じる場合があります。

対策としては、新鮮な水が出るまで、滞留した水をすべて出し切るとともに、臭い等が取れるまでは飲用を控えてください。また、受水槽を設置している住宅等の場合は、その衛生状態が悪化している可能性がありますので、確認のうえ定期的に点検・清掃を行ってください。

Q 5. 金属臭を感じるのですが？

宅内の給水管設備には鋼管等の金属を使用している場合も多く、老朽化に伴うサビの影響により、朝一番の水のように長期間滞留した水道水では、金属臭を感じる場合があります。朝一番の水は、植木灌水など雑用水として使用してください。

また、受水槽を設置している住宅等において、その清掃管理状態が不十分である場合や設備の老朽化により鉄さびが生じている可能性も考えられます。受水槽の清掃や給水管の取替え等、適切な処置を行ってください。

受水槽の清掃については専門業者へ、水道管の取替工事等については市指定の水道事業指定給水装置工事事業者へご相談ください。

Q 6. 赤茶色の水が出るのですが？（特定の蛇口や朝など）

宅内の給水管設備の鋼管等が古くなって鉄さびが発生し、水の滞留により管内のさびが流れ出したと考えられます。朝の使用はじめの水は、その濁りが取れるまでは飲用せず、植木灌水など雑用水として使用してください。しばらく出水しても濁りが解消できない場合は、給水管の老朽化が著しいと思われますので、取替工事をお勧めします。

広範囲の住宅から赤茶水が出る場合は、水道本管や消火栓の老朽化に起因する可能性や周辺における水道工事の影響が考えられます。周辺住宅の状況確認など、原因を調査しますので、市水道部までご連絡ください。

Q 7. 真っ白な水（白濁水）が出るのですが？

水道水に空気が巻き込まれると、小さな気泡により白く見える場合があります。透明なコップ等に汲み入れ、しばらく静置し透明になってくれば、水道水の異常ではありません。

しばらくしても濁りが取れない時や異臭を伴う場合は、原因を調査しますので、市水道部までご連絡ください。原因が解るまでは飲用を控えてください。

Q 8. 水道水が泡立つのですが？

水道水を勢いよく出すと泡立ち、しばらくすると泡が消える場合は、空気が引き込まれたことが原因と考えられます。また、容器に洗剤等が付いていないかなどを確認してください。

Q 9. 汲み置きした水が膜を張ったようになるのですが？

【ケース 1】

汲み置きした場所が屋外や蓋をしていない場合、水の表面に非常に小さなほこりが落ちて油膜を張ったように見えることがあります。

【ケース 2】

汲み置きした場所が台所の場合、料理中の油が空気中に飛散して容器に入ったり、レンジ

フード等から油が落下することもあります。また、容器の洗浄が不十分で水面に油が浮くことがあります。

【ケース3】

給湯器や宅内配管（亜鉛メッキ鋼管、黄銅部、防錆塗料）から亜鉛が溶け出て白く濁った可能性があり、この場合、煮沸すると一層白く濁ります。亜鉛の水質基準は、1リットルあたり1mg以下であり、一般的に水道管の劣化等により水質基準を超えるほどの亜鉛量が検出されることは考えにくく、人体に対する影響も慢性毒性はなく悪影響はないと言われています。

対策としては、しばらく出水して状況が改善するか確認してください。それでも改善しない場合には、給水管の老朽化が著しいと考えられますので、宅内配管の状況を調査確認のうえ取替工事をお勧めします。

Q10. 水を汲み置きすると容器がぬるぬるするのですが？

汲み置きした水は、時間とともに残留塩素が減少していきます。残留塩素が消失すると、雑菌が繁殖して、容器がぬるぬるします。容器がぬるぬるした場合は、雑菌が繁殖していますので、飲用は控えてください。

Q11. 非常用飲料水の保存方法や保管期間について教えて

水道水には、水道法の規定により塩素が含まれています。この塩素が雑菌の繁殖を抑えてくれるのですが、保存期間の経過とともに徐々に残留塩素も薄くなり、消毒効果が減少します。

保存方法ですが、よく洗浄した清潔で蓋のある容器に空気に触れないよう、口元までいっぱいに入れてください。煮沸したり、物によっては浄水器を通したりすると、塩素が除去されてしまいますので、必ず蛇口から直接注ぐようにしてください。

保存期間は、直射日光を避けた涼しい場所であれば3日程度、冷蔵庫で保管すれば1週間程度は塩素の消毒効果が持続します。日付をメモしておくとう便利です。

くみ置きした水を飲む際は、直接容器に口をつけると雑菌が入ってしまう恐れがあるので、コップなどに注いでください。

保存期間が過ぎた水は、掃除や洗濯などにお使いください。

Q12. 浴室のタイルが黒くなったり、トイレ・洗面所の衛生陶器がピンク色になるのは？

浴室のタイル、トイレ、洗面所等の衛生陶器やホースの内面、タオルなど常に湿った状態にある場所では、空気中の細菌やカビ等が繁殖しピンクの色素を形成したり、黒く着色することがあります。対策としては、水周りの清掃や換気を充分に行うことが必要です。

Q13. 観賞魚等を水道水で飼育すると死んでしまうのですが？

観賞魚等の種類や塩素への耐性力によっても異なりますが、水道水に含まれている塩素の影響や水替えによる水温の変化などが原因と考えられます。その魚等に応じた水質管理や飼育方法を購入店や専門書などでよく確認していただくことをお勧めします。

観賞魚等を水道水で飼育する場合は、一般的に脱塩素剤（ハイポ）の使用や、汲み置きして残留塩素を消失させるなどの対応が必要とされています。

Q14. 黒い異物（微粉片等）が出たのですが？

止水栓・給水栓のゴムパッキンや加圧ポンプに使用されているゴム・樹脂製ダイヤフラム（弾力性のある膜部品）、給水管と給水装置を接続するゴムパイプの劣化、管接合部のポリエチレン管の切りくず、配水管からのマンガンスケールの剥離、鋼管等の鉄サビ等が考えられます。劣化したゴムパッキン等については交換が必要になりますので、水栓器具の状況を確認のうえメーカー等にご相談ください。

また、給水器具（湯沸し器、浄水器、タンク等）の老朽化や管理保全状況が不十分な場合でも濁水や臭い等が発生します。取扱説明書をよくご覧になり、解らないことがあればメーカーや販売店に問い合わせるなど、正しくお使いください。

Q15. 砂の様なものが出たのですが？

配水管や給水管の水道工事の際、水道管の清掃作業は行われますが、微量の砂が混入した可能性が考えられます。

このほか、受水槽など個別の宅内給水装置の不備などで混入した可能性も考えられます。原因を調査しますので、市水道部までご連絡ください。

微量の砂であれば水質を悪化させる影響はないと考えられますが、念のため原因を調査するまでは飲用を控えてください。

Q16. 水・お湯の出が悪くなったのですが？

宅内の給水管設備の鋼管等が古くなって鉄さびが発生し、微細な鉄さびが配管設備内のストレーナー（ゴミ除去のためのスクリーン）等に目詰まりしている可能性があります。

対策としては、定期的に水栓・蛇口に付いているストレーナー等を清掃してください。

また、お湯の出が悪い場合には、宅内のすべての水栓・蛇口の状況を確認し、給湯器を介する配管系統のみで、お湯の出が悪い場合には、給湯器自体の不具合や性能低下が考えられますのでメーカーや販売店にご相談ください。